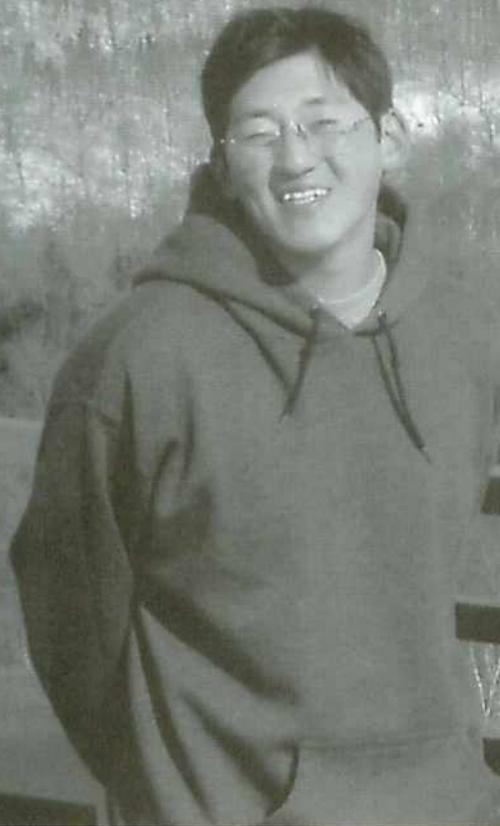


題字：春の芽吹きを表現してみました



4月号のもくじ

コンテンツ(Contents)

- | | | | |
|---|------------------|----|------------------|
| 2 | 女性部総会 | 8 | 酪農畜産価格政策などの組合長報告 |
| 3 | わが家のIDOL(岡部恵大くん) | 9 | 地区別懇談会・理事会経過 |
| 4 | 未来を拓く若者(井上直人さん) | 10 | 普及の窓「拡大版」～11 |
| 5 | 青年部だよりほか | 12 | 私に任せて・新人職員 |
| 6 | 特集・海外レポート～7 | 13 | 掲示板 |
| | | 14 | 退職のお知らせ |
| | | 15 | 3月組合動静など |

新役員体制のもと、更なる組織の充実、 女性活動の展開に期待！

J A 中標津女性部の第五十一回通常総会が三月十九日、
農協大会議室にて開催されました。

総会出席者八十六人、委任状四十
五人のもと、武佐地区・清原朱美さ
ん、第2俣落地区・遠藤晃子さんが



新役員の皆さん

議長に選出され、議事が進められま
した。平成十五年度事業・収支報告、
平成十六年度事業・収支計画案の他、
規約の一部改正、役員選考委員会の
推薦による新役員体制についても原
案通り承認され盛会に終了しました。
また最後に、十二年の永きに渡り
部長職を務められ、任期満了に伴い
この度の役員改選により降任するこ
ととなった横田純子さんへ、新部長
の井口五子さんから、部員一同の感
謝の気持ちを込めて花束が贈られま
した。

総会終了後は、女性部研修会とし



永い間、ありがとうございました

て、第一部「平成十六年度乳質改善
対策について」を、J A 酪農課長
長補佐を講師に迎え、一連の目的や
規制数についてと、小さなミスをな
くそうとの説明がありました。

研修会第二部として、町内在住の
阿部ゆかり氏を講師に迎え、「悩み
の中のわ・た・し！」をテーマとし
て心の学習が行われました。中でも、
自分の外に向けられる意識の悩みは、
解決できないこと、ものの考え方や
想いは、子供の頃・若い頃に学んだ
信念や価値観に強く影響されている
ことが多く、気付かないうちに染み
ついてしまっているということ、そ
の信念や価値観を見直してみること
が必要である。などという内容を学
びました。また、自我状態診断チェ
ックやワークシヨップなど楽しみな
がらも、ハツとさせられる研修内容
に、自分自身の心の知らない部分に
ちよつとだけ入り込めたような感じ
がしました。

五十周年も無事終了し、新たな五
十一回事業年度が新役員体制のもと、
更なる組織の充実、女性活動の展開



女性部研修会 第2部ワークショップの様子

が図られることを期待し、今年度も
女性部員の皆さんが陽に向かって笑
顔で活動できることを願いたいもの
です。

【新役員(三役)】

- 部長 井口五子 (武佐)
- 副部長 井上順子 (開陽)
- 副部長 片岡なみ子 (第2俣落)
- 監事 山下智代 (開陽)
- 監事 大西ふみ子 (俣橋)
- 監事 小出公子 (俣落)

アイドル IDOL

何よりも食べることが 大好きな恵大くん!

わが家の
人気者

日中の気温も少しずつ上がり除々に春めてきた今月の人気者は、豊岡地区。岡部達也さん宅次男・恵大くんです。

食べるのが何よりも大好きだという恵大くんは、赤ちゃんの頃は母乳を飲む量も凄まじく、標準より手も足もなんでも大きくて、首が座るのはもちろん、歩けるようになったのも早かったんだって。ママの話だと、食べる量とうんちの量は半端でないとか…。

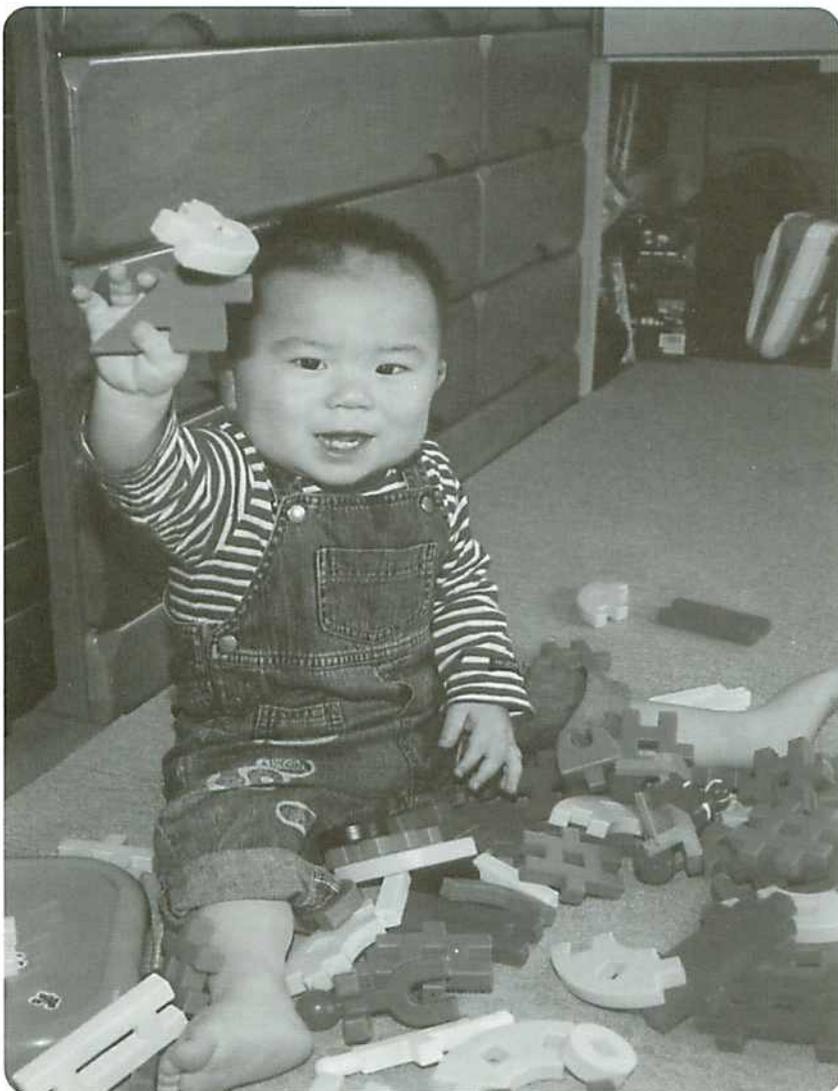
普段、兄弟仲良く遊ぶのかと思えば、ママを恵大くんに捕られたと思っているお兄ちゃんに、ライバル視されていて、髪梳き櫛で前髪を梳かれたりと、弟分として細々と戦っているようです。それでもお兄ちゃんのことを大好きで、何でも同じことをしたがって、お兄ちゃんの園児服と帽子を着用すると超ご満悦顔!

そんな恵大くんも、「ご飯食べる人」「足臭い人」「(笑)」と、尋ねると「はいっ!」と元氣一杯返事したり、靴下をすぐに脱いで、みんなの靴下も脱がせてしまったり、みんなの足のの上に乗ってみたり、危うくてんとう虫を食べてしまったり、一人て寝なくちゃならない時は、大好きなママのパジャマを抱きかかえて眠ったり、せつかく慣れて仲良くなった来客が帰ってしまうのが寂しくて泣いてしまったりと、愛らしさも一杯

なのでした。

さて、パパとママに恵大くんのことから期待することは?と尋ねると、パパは「身体が大きいので、ただ大きいだけでなく、気の優しい力持ちになって欲しい!」と、ママは「とにかく人に迷惑を掛けないで欲しい。」と、それぞれが答えてくれました。

恵大くん!この中標津の大地の恵みをたくさん食べて、大きな気の優しい力持ちの男の子に育ってね!



岡部 恵大くん

おかべけいた
2003年1月23日生
岡部達也・紀子さんご夫妻の次男
として生まれる

【パーソナルデータ】

井上芳行さん、順子さんの長男。妹2人。
昭和54年11月17日生まれ。
血液型=B型。

仕事に遊びに 柔軟な思考で一生懸命です

今回ご紹介するのは農協青年部開陽支部の井上直人さんです。

直人さんは中標津高校普通科を卒業後、帯広畜産大学草地区別科に入学、二〇〇〇年に中標津へ戻り就農と同時に青年部開陽支部に入部、翌年には本部に入り、〇二年には農協のルーキーズカレッジに入校。現在、青年部活動のみならず同志会員としても活躍しています。

直人さんは仕事も一生懸命、遊びも一生懸命の柔軟な思考の持ち主です。行事や集会には積極的に参加し真剣に取り組んでいます。

また、お酒の席では持ち前の陽気さで場を盛り上げてくれます。

直人さんに趣味、特技は？ と聞くと、「特にないけど…映画鑑賞かな」とのこと。最近泣いた映画はと話を向けると「忠犬ハチ公物語」ということでした。しかし、隠そうとしても知っている人は知っている。



直人さんはサッカーが上手いんです。一月に行われた青年部支部・役員対抗のミニサッカー大会では得点王に輝きました。

将来の目標を聞くと「規模拡大とともに人間も牛もストレスを感じない環境を作ることです」と直人さん。これからも家の仕事と青年部活動に頑張ってください。

乳質改善の目的は、 お客さんに安心感を与えること

明治乳業
酪検協会見学



明治乳業西春別工場長のあいさつ

明治乳業からは求められている「乳質」とは？ と題し、乳質改善の本当の目的はお客さんに安心感を与えることではとの意見を聞きました。そのためには法令遵守が基本となり、ストレスで基準をクリアするのではなく、突発的に検査を要望されても、今までの検査の結果を見せたいと言われたら、自分が搾った牛の体細胞・生菌数については大丈夫と胸を張って言えるような取り組みが今後、消費者から求められて来る可能性があること示されました。

三月十六日、二〇〇三年度の締めくくり事業として、一年を通して取り組んできた乳質改善について、実際に生産、出荷した生乳の製造現場である明治乳業西春別工場と酪農検定検査協会の事業所を視察しました。

乳質の推移、乳検の有効活用

当幌支部勉強会開く

三月十五日（火）青年部当幌支部は農協、酪農家長渕氏を講師に勉強会を行いました。当日は十一名が参加し、現在の中標津町農協の乳質の推移、乳検の有効活用の勉強をしました。

当幌の青年部で乳検に未加入は三件で（うち一件は自分の家ですが…）加入に際してのよい勉強になったのではないかと思います。

青年部を始めとする活動が中標津町農協管内を巻き込んで、一歩進んだ取り組みとなり、乳質は着実に向上し、全道でも上位に名を連ねる機会が多くなってきました。

乳検の内容を知らない私には乳検の内容がわかり、みんなで持ち寄ったデータで、さらに内容の深い勉強会ができるのではないかと思います。

酪農課と各酪農家の努力により中標津の乳質もかなり改善されましたが、最終的には自分の利益になるということがわかったのが一番の成果だと思いい、これからも気を付けていきたいと思いいます。



酪検協会で機械の説明を受ける

乳質改善の目的と意義が多くの部員に理解されて、日々の地道な取り組みが確実に浸透していることの結果です。

Jrホルスタインクラブ総会 スプリングスクールで親睦も

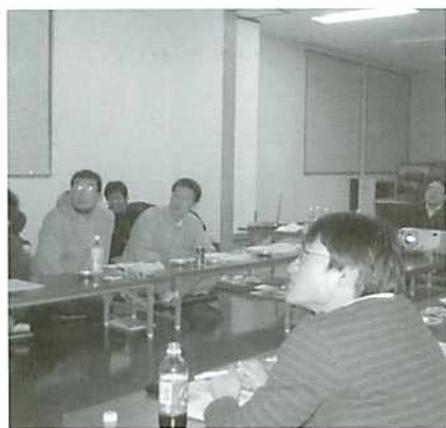
中標津ジュニアホルスタインクラブ運営委員会（金子安一委員長）は、二十九日、根釧農業試験場の大会議室で第十五回の中標津ジュニアホルスタインクラブ定期総会を開き、平成十五年度の決算や十六年度の事業計画などを決めました。

平成十六年度の事業計画では、他の恒例となっているイモ以外の作物も作付けしてみたいなどの活発な意見も見られました。運営委員会の役員改選では、副委員長に川村尊之氏を選出。監事一人は保留となりましたが、他の役職は再任となりました。ジュニアホルスタインクラブの新役員は、ジュニアリーダーに佐藤恵悟さん、サブリーダーに横田晋一さん、地区リーダーに奥田美鈴さん、高野歩さんらを決めました。



総会に引き続き行われた第二十回スプリングスクールでは、農業試験場内を見学したほか、ボーリング場へ会場を移し、親子親睦のボウリング大会を行い、会員同士の交流を深めました。

青年部だより





参加者全員ミューラー本社前で

成田空港からシカゴ経由でスプリングフィールド空港へ、アメリカでのテロ警戒で検査の時間を非常に要した旅立ちとなりました。

空港へ着くとミューラー社のテリ―氏とロン氏の出迎えにより、日本語で挨拶、行程の説明を受けました。が流暢な日本語に感心しました。

「これがしたい」「これをする」 という気持ちが大切

海外レポート

昨年11月、アメリカ・カナダ、ジャーマニア&ミューラーデイリーツアーに参加した職員からの報告です。
今回の視察ツアーは、西春別で規模拡大予定の酪農家1人と昨年末に3戸法人を立ち上げた酪農家の家族3人と当農協の裏地係長、土井上係、(株)コーンズ・エージの職員2人が随行して行われました。移動日を含めて10日間の行程でアメリカ・ミューラー社の工場や、ニューヨーク州バッファロー周辺の酪農家、オンタリオ州の酪農家を視察し海外の酪農スタイルを体感しました。



冷却システムの説明を受ける

十一月十日、ミューラー本社工場を視察。同工場で製造されているバルクは六〇〇〇ガロン、二十四斗以上のもので全て受注生産。手作業による工程が多く驚きました。冷却システムの説明では、チラーシステムよりも電力コストのからない畜冷熱システム、マキシマムアイスによる冷却エネルギーの生成により二十四時間かけてシャーベットアイスを造り出し、ミルクの急速冷却に利用する方式が今後の主流になっていくと思われました。

ミューラー社の歴史
一九八〇年、サージ工場を設立、一九八七年ミューラー社が買収して現在に至る。四八%のバルクシェアを持ち世界一、だが、酪農器具の生産割合は二〇%程度でビールやワイン貯蔵用のバルクやバイオテクノロジーには特に力をいれており、本社工場だけで百人ほどのエンジニアがいる。

十一月十二日、ニューヨークバッファローへ移動し、搾乳牛頭数三百〇〇頭規模の大変多きな農場を三件ほど視察し、最新の設備や綺麗な環境に感心させられました。

一軒目のNorton Farmは三戸の共同経営で総頭数六百頭。九七年に十六頭Wのヘリンボンパーラーを建設し、〇〇年に増設し二十頭Wにしたとのこと。搾乳者は一人で一時間当たり百四十頭を搾り、一人で三百頭を搾乳していました。搾乳方法は両側に牛を入れて、片側十頭ブレデッピングしてふき取り、十頭ずつミルクをかけていました。片側が終わると、牛を退去させ、また入れ



Norton Farmオーナー



左が搾乳者、ロボットのような動き

取して現在、施設を建設しているところ。施設建設に当たってオーナーに将来の夢やどのくらいの頭数を搾るかを聞くのが、ジャーマニアから設計前に言われることで、将来千頭搾乳する構想を話したので、二十頭Wのパラーよりも十六頭W×二列のパラーを勧められたそうです。右習え的な感覚がないアメリカらしい能率的な設計方法論だと思いました。



16頭Wが2列になる構造のパラー室

ることを繰り返していました。ロボット並みの正確な動きで両側にポケットのある大きな前掛けをし、右側に入れてあるタオルで拭き終わると左のポケットにしまい、また右から綺麗なタオルを取り出すという動作を繰り返していました。

三回搾乳でミルクカーは五人。二十四時間カメラが回っており、個々のミルクカーの良いところを見つけ、より良い搾乳方法の模索をしています。施設の建設時には、二人で二十頭Wは無理と言われていましたが、成功を取めたためにこの方式がアメリカ全土に広がっているという。

二軒目はMowacres Farmで建設中のFS・MPを見学しました。五百六十頭の牛を十頭Wのヘリンボンパーラーで三回搾乳しているが、作業効率が悪いので近隣の酪農家を買

十一月十三日、カナダのオンタリオ州へ移動し、二件の酪農家を視察。パーラー室やフリーストールの床全てにラバー製のマットが敷設されていて、牛も綺麗で足下にも負担をかけないような飼育環境で、牛もリラックスしていたようでした。

一軒目、法人経営をしているOrchard Dairy、総頭数五百八十頭、二十頭Wのヘリンボンパーラーで個体乳量は三回搾乳で平均一万三千七十六kg。搾乳者は一人で五時間ほどかかっています。建設後六年

た牛舎だが、換気なども考えられており新品同様に綺麗でした。また、牛群が非常に清潔で年に二回全頭毛刈りを行う。「人間でもそうだが、汚い所にいると何かと病気になるやすい」実践者からの言葉が印象に残りました。北海道の環境に似ており、ゴムマットは寒冷地に向かないということを聞くが、この農場でもFS牛舎とMP室全面にゴムマットを置いており充分日本でも可能であると感じました。

二軒目、Cornelia Holsteins 個人経営の酪農家。搾乳はこれも一人で時間は一時間二十五分で百六十頭の搾乳を終えるそうです。さらに、これも三回搾乳。パーラー室の床が油圧で昇降し、搾乳者の負担が少ないうように配慮されています。家族経営



この床が昇降式になっています

で人手が少ないので一つの建物の中に哺育舎から成牛舎、乾乳舎まで配置し、人工授精ではなく種牛を使い、労働の省力化を図っていました。

十一月十四日、早朝より酪農規模拡大を考えている人を対象としたジャーマニアによるパーラープランニングセミナーが開かれ、アメリカ全土から三十人ほどの人が、フリーストールパーラーの建設や、牛を綺麗に飼う方法などを受講され、私たちがもとても勉強になりました。

生産に必要なことは、自分はこのことができるではなく、これがしたい。これをするんだという気持ちが大切であるということ。牛をきれいに飼う方法と高品質牛乳をいかにして搾るかを考えていかなければならない。

施設の建設に当たっては、ただ単に造るのではなく、自分の将来の夢や将来どのくらいの頭数を搾りたいかを考え、先を見据えてプランを建て、チーム（家族、獣医師、各相談員、建築会社など）を編成して取り組むのが最良であるとの説明がありました。

十一月十五日、ニューヨーク市内を經由し、十七日に成田空港へ千歳空港へ到着。初めて、海外での酪農スタイルを見る機会をいただきとても学ぶことが多かったです。誠にありがとうございました。

農協事業も三月をもって平成十五年度が終了したところですが、過日の地区別懇談会でも見込みを報告しました通り、概ね当初計画に沿った動きで推移しており、総会時に示した計画以上の決算で終えることが出来る状況にあります。

これもひとえに組合員ご家族の農協の事業に対するご理解とご利用、さらには多くの町内外の方々のご利用を含め、農協に寄せる期待を強く感じているところでありまして、改めて深く感謝を申し上げます。

さて、平成十六年度の酪農畜産政策運動であります。すでにご承知かと思いますが、若干触れさせていただきます。昨年、秋以降農水省サイドから財源問題と各政策の見直しが表面化している旨の動きがあり、今時の運動は極めて厳しい環境にあり、私も主産地にとって決定的かんによって大きな影響と不安感を残すことを避けるべく根室管内としても独自中央要請、代表者集会（二百五十人規模）を開催するなど、最終第四次まで気の抜けない必死の要請運動を展開したところでです。

① 異常な脱脂粉乳在庫による生産調整的な決定を避け、限度数量を維持する

平成16年度が始まりました 酪農畜産価格政策など に対する組合長報告

代表理事組合長
高橋 勝義

新年度に入り、人事異動、入学式など何かと忙しい時期を迎えております。組合員の皆様におかれましても、苦勞した除雪作業及び被害などの大変な傷跡を残しながら、確実に春の季節が近づいてきておりますが、ご健勝で過ごしのこととご推察申し上げます。



- ② 土地利用型酪農推進事業の大幅な見直しを避け、政策目的をより明確に継続を求める
- ③ 環境対策（補助付きリース事業）の予算の拡充
- ④ 補給金単価の大幅な値下げを阻止する
- ⑤ BSE関連対策の継続を訴える

重点課題として特に上記に絞って

現場の状況を含め、理解を求めた交渉でありました。結果としては、一部不満が残るものの影響を最小限にとどめることができたと評価しております。この運動を通じて、協力・支援をいただきましたことにお礼を申し上げます。どうか、この決定を受けて個々の経営の中で、より一層前向きに取り組まれますようお願い申し上げます。

また、現在十六年度に向けた事業計画を詰めているところであります。未だ国内経済も明るさと力強さが見

えない状況の中で、この一年が天候も含めてどう見通すか一面がかりでもあります。また、大型複合店などの新規出店の動きもあり、今後の事業経営においてもより慎重に、時には積極的に取り組んでいく方向を示して参りたいと思いを巡らせているところであり

ます。基本は組合員の経営の安定と生活向上であります。組織として支援・対応のあり方、ニーズをとらえ、事業に生かして参りますが、一方で組合員、組織がともに目標を共有しながら当組合が各方面から評価をいただける取り組みも必要であります。

総会に向けて、地区別懇談会も今後予定しておりますので、一人でも多くの方々の参加を期待し、前進したいものと考えております。今後ともご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。上げ思いの一編とさせていただきます。

乳質改善の自主規制 実施要領などを説明

●地区別懇談会開く●

今回の懇談会は、3月8日から10日まで3日にわたって開催されました。ご多忙の中、また夜半に及ぶ時間帯となる地区もありましたが、数多くの皆さまのご出席をいただき誠にありがとうございました。



説明した議題は、一月末の農協事業概況について、災害復旧特別資金の創設について、牛乳集荷運賃交渉の結果について、平成十六年度乳質改

善実施要領について、給油所事業の概況について、などでした。その他には、酪農畜産政策・価格対策についてのご報告や、生活店舗の改装計画など

の説明を致しました。

農協の事業概況ではおおむね右肩上がりの状況で、当初計画より計画を上回る状況となりましたが、だいいこの販売実績が一億円ほど減ったことで手数料が三百万円ほど減少し、スタンド事業もセルフスタンドの進出により、現金客が流出した影響により五百三十万円ほど手数料が減少しました。

しかし、これらの要素もある中では全体的に好調で、例年並みの決算になることと予想しております。

いただいたご意見の中で特に多かったのは、十六年度乳質改善自主規制の実施要領について四十一万規制に取り組むにあたり、期間としては時期尚早だというご意見や、反対に良質乳の生産により全体の経営改善と所得の向上につながるものであり、生乳主産地として早急に実施せよとの要望もあり、今後さらに協議して参ります。

また、牛乳集荷運賃については、隔日集荷を前提とした交渉により流量計の導入、新運賃などの交渉結果についてご理解をいただきました。今回の懇談会でいただいた皆さまの貴重なご意見につきましては、理事会において慎重に協議し、新年度の事業計画に織り込み、前向きに対応したいと思えます。誠にありがとうございました。

第十三回理事会の経過

開催月日・平成十六年三月二十九日

〈決議事項〉

- 第一号議案 平成十五年度収支決算の見込について
- 第二号議案 職員の期末手当について
- 第三号議案 役員報酬審議会の答申について
- 第四号議案 電解水設備工事及びミネラル水自動販売機の導入について
- 第五号議案 平成十六年度各部の事業計画骨子(案)について
- 第六号議案 平成十六年度各種作業利用料金及び農協事務手数料の設定について
- 第七号議案 平成十六年度販売手数料及び利用料金の設定について
- 第八号議案 平成十六年度購買及び店舗手数料の決定について
- 第九号議案 職制規程の変更について
- 第十号議案 給与規程の変更について
- 第十一号議案 競争入札参加資格審査及び指名基準に関する要領の制定について
- 第十二号議案 各種資金の借入れについて
- 第十三号議案 農協有スラリーローリーの処分及び取得について

第十四号議案 農協有バルククーラー等貸付事業の固定資産取得について

第十五号議案 補助事業による牛糞情発見機の導入について

第十六号議案 雪害に伴うD型施設の復旧取りまとめについて

第十七号議案 生乳集荷輸送契約書の締結について

第十八号議案 大根に係わる機械整備と固定資産取得について

第十九号議案 平成十六年度収支予算計画について

〈報告事項〉

- 報告事項一 自己査定結果(十二月末仮査定)について
- 報告事項二 平成十五年度の出資増口と組合員の加入状況について
- 報告事項三 新採用職員及び人事異動について
- 報告事項四 農業所得税・消費税の申告について
- 報告事項五 営農用水の状況と対策について
- 報告事項六 酪農基礎調査について
- 報告事項七 酪農ヘルパー事業実績見込について
- 報告事項八 平成十五年度各補助事業の精算について
- 報告事項九 平成十五年度緊急優良乳用後継牛群整備対策事業実績について
- 報告事項十 平成十六年度畜産物価格関連対策の概要について

粗飼料分析結果の見方 粗飼料分析値を読みとろう②

先月号で『三、基本分析結果の⑦』まで掲載しておりましたので続きから掲載致します。

- ⑧ 酸性デタージェント繊維
胃液で消化される繊維（リグニン
は不消化）
（目標値三八%以下）
- ⑨ 中性デタージェント繊維
飼料中の総繊維
（目標値六〇%以下）
- ⑩ 非構造性炭水化物
第一胃内の微生物が利用するエネルギーで、刈り遅れると少なくなります
- ⑪ 粗脂肪
植物体に含まれる植物性脂肪
- ⑫ 粗灰分
ミネラル、微量元素の総和
ア、カルシウム（〇・二五%以上）
イ、りん（〇・二%以上）
- ウ、マグネシウム（〇・一五%以上）
エ、カリウム（二・五%以上は要注意）
オ、当量比（二・二以下が適正）
- ⑬ 乳酸
pHを下げて不良発酵を抑えます
- ⑭ 酢酸
好気性の細菌が糖を分解して作る有機酸（少ないほうが良い）
- ⑮ 酪酸
高水分等で乳酸菌の働きが不十分な場合に、酪酸菌が増殖して糖や乳酸を分解して作られる有機酸
- ⑯ アンモニア態窒素/全窒素
酪酸菌がアミノ酸を分解して作られる（六・〇%以下が望ましい）
- ⑰ 硝酸態窒素
飼料中の硝酸態窒素濃度があるレベル以上になると硝酸中毒を起しますので注意して下さい

〇〇 様

粗飼料分析結果報告書

ホクレン支所 中津	農協コード 00000-00	農協名 JA〇〇
2003年産	組合員コード 00000	組合員名 00000

受付年月日 00/00/00	分析所受付番 00000000	分析料金 基本分析 3,000	選択分析1 1,000	選択分析2 1,000	選択分析3 1,000
報告年月日 00/00/00	生産者サンプル番号 00000000	飼料名 イネ科混播牧草	飼養形態 サイレージ	刈取回数 1 番草	生育ステージ 出穂期

基本分析結果

分析成分	原物中	乾物中	全道平均
水分	% 78.92		69.11
乾物 DM	% 21.08		30.89
pH	4.80		4.51
粗蛋白質 CP	% 2.72	12.89	11.57
溶解性蛋白質 SIP	% 1.26	5.95	5.30
結合性蛋白質 BP	% 0.27	1.30	1.16
有効蛋白質 AP	% 2.44	11.59	10.41
正味エネルギー NEI Mcal/kg	0.24	1.12	1.10
可消化養分総量 TDN	% 12.59	59.72	58.57
細胞内容物質 OCC	% 6.34	30.08	29.37
細胞壁物質 OCW	% 13.15	62.37	63.74
高消化性繊維 Oa	% 2.45	11.61	10.34
低消化性繊維 Ob	% 10.70	50.76	53.40
酸性デタージェント繊維 ADF	% 8.10	38.43	39.00
中生デタージェント繊維 NDF	% 12.73	60.41	62.81
粗繊維 CFib	%		
非構造性炭水化物 NSC(NCV)	% 3.25	15.42	16.49
デンプン STA	%		
粗脂肪 EE	% 0.85	4.03	3.45
粗灰分 CAsh	% 1.59	7.55	6.89
カルシウム Ca	% 0.08	0.39	0.37
りん P	% 0.04	0.21	0.21
マグネシウム Mg	% 0.03	0.15	0.18
カリウム K	% 0.51	2.42	2.03
当量比		1.95	1.65

飼料評価

評価成分	原物中	乾物中	全道平均
採食可能量(BW600Kg換算) Kg		10.9	10.3
相対的粗飼料価 RFV			

選択分析1結果

分析成分	原物中	乾物中	全道平均
乳酸 Lac	%	未検出	1.31
酢酸 Ace	%	1.14	0.57
酪酸 But	%	未検出	0.44
アンモニア態窒素/全窒素 NH3-N/TMN	%	6.48	6.78

選択分析2結果

分析成分	原物中	乾物中	全道平均	
硝酸態窒素 NO3-N	%	0.002	0.010	0.019

選択分析3結果

分析成分	原物中	乾物中	全道平均	
ナトリウム Na	%	0.002	0.011	0.033
塩素 Cl	%	0.289	1.370	1.150
イオウ S	%	0.035	0.166	0.181

蛋白分画(乾物中)

SIP CP 中% 46.21% (5.95%)

早春の施肥管理は？

一. 施肥量を決める

草地の施肥量は、植生(マメ科率とイネ科率(チモシー))によって決められます。

マメ科牧草とチモシーの割合を知るための方法として、草地の敷力所で約一メートル四方の植生を調べます。

表一によりマメ科率とチモシーの割合による植生区分が決まったら、表二の北海道施肥標準を使って施肥量を決めます。

また、この時に裸地の割合や雑草の割合も同時に記録します。草地全体の裸地の割合が三割を越えるようでしたら追播や更新も検討しましょう。

二. 施肥配分を決める
チモシー草地では、一番草の収量割合が大きいことから、収量に応じて一番草に年間施肥量の三分の二、二番草に三分の一を施肥します。

家畜糞尿を多量(スラリーで一〇アル当たり四t以上、未熟堆肥で一〇アル当たり五t以上)に散布している草地では、土壌のミネラルバランスが崩れていることも考えられます。定期的な土壌診断(三年に一回)を行い、草地に合った施肥量を検討しましょう(これらの問い合わせは普及センターまで)。

三. 早春の施肥時期

一番草の収量を増やすためには、有穂茎数を増やすことが必要です。図一が示すように、窒素吸収が盛んな萌芽期に窒素分を施肥することで、有穂茎数が増え、乾物収量の増加につながります。しかし、施肥時期が遅れると幼穂形成期までの窒素吸収量が少なくなり、収量の増加を制限してしまいます。

北根室地区の萌芽期の平年値は四月二八日前後です(表三)。萌芽期は早春の平均気温により左右されます(表四)。この時期、草地の立地条件によっては、まだ、かなりの水分を含んでいて、

トラクタなどにより草地を痛めてしまうこともあります。草地の巡回をこまめに実施して、土壤凍結がなくなり機械がほ場に入れるようになったら一日でも早い施肥を心がけましょう。

表1 マメ科率による植生区分

区分	マメ科率による区分	
	マメ科	チモシー
1	30%以上	50%以上
2	15~30%未満	50%以上
3	5~15%未満	50%以上
4	5%未満	70%以上

表2 北海道施肥標準 チモシー草地

マメ科率による区分	目標収量	火山性土		
		窒素	リン酸	カリ
1	4,500~5,000	4	10	18
2		6	10	18
3		10	8	18
4		16	8	18

(平成7年3月 北海道施肥標準抜粋) kg/10a/年間

表3 北根室管内の萌芽期

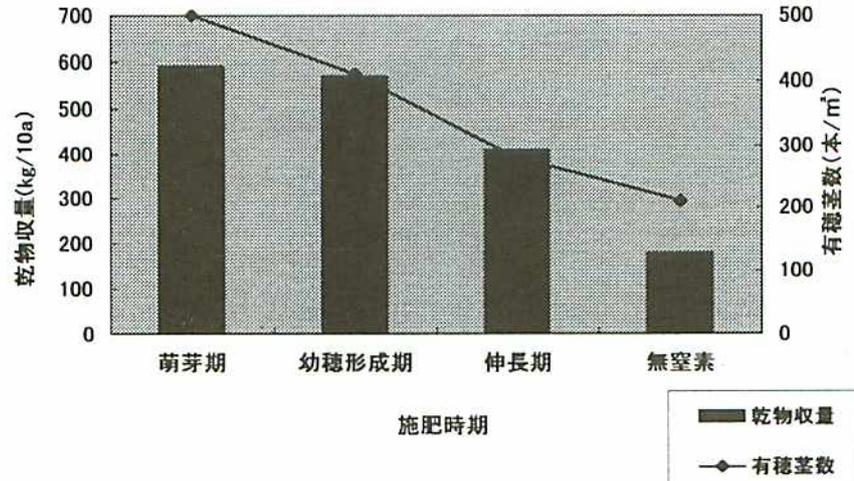
平年値	平成15年	平成14年	平成13年	平成12年	平成11年	平成10年
4月28日	5月7日	4月24日	4月28日	4月27日	5月5日	4月21日

(普及センター調べ)

表4 平均気温の推移(観測点 中標津)

	平成16年	平成15年	平成14年	平成13年	平成12年	平成11年	平成10年
2月	-5.2	-8.7	-5.2	-10.8	-9.0	-7.0	-8.5
3月	?	-3.0	-1.3	-3.4	-3.6	-3.9	-1.4
4月	?	3.7	5.2	4.7	2.7	2.4	5.2
5月	?	8.5	9.5	7.6	8.8	8.5	9.5
萌芽期	?	5月7日	4月24日	4月28日	4月27日	5月5日	4月21日

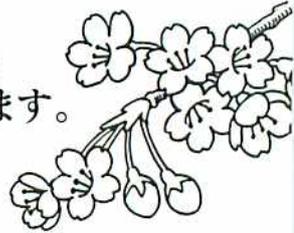
MICOS気象情報(アメダスデータ日報)より



図一 早春の施肥時期が一番草収量、有穂茎数に及ぼす影響(一九八五松中・小関)
※萌芽期とは牧草の根が活動を始めた時期、牧草の葉が緑色になり始めた時期
※幼穂形成期は萌芽期より約二週間後です。

私に任せて!

4月1日に准職員採用となりました5人を紹介します。



さざわ ひるみ
佐沢 裕美

標茶高校総合学科卒業の佐沢裕美です。この春新卒で組助係配属になりました。初めは、クミカンという聞き慣れない言葉にとまどいもありましたが、実習期間を経て、今ほとんどもやりがいのある大切な仕事なんだと思っています。一人暮らしを始めてからは、料理



いしくろ むつみ
石黒 睦美

をするのが趣味? です。特技は電卓を打つことでしたが、もつと実践的な力を付けられるように頑張りたいです。クミカンは組合員の皆様と直に触れ合う機会が多いので、早く皆さんの顔と名前を覚え、皆さんにも私を知ってもらえるように頑張りたいです。宜しくお願いします!

標茶高校出身の石黒睦美です。管理電算課配属となりました。趣味は食べることです。いつも元気で明るいのが取り柄です。

中標津町で働けることを心から喜んでいきます。皆さんとの交流を大切に、一日も早く名前を覚えてもらえるように頑張りたいと思います。そして、少しでも皆さんのお役に立てる仕事ができるように、日々努力していきたいと思っています。

どこかで見かけた際には声をかけていただけたらうれしいです。一生懸命頑張っていきますので宜しくお願ひ致します。



かくた かずこ
角田 和子

今年の三月に中標津高校事務情報科を卒業した角田和子です。金融係配属となり、四月から准職員として働き始めることとなりました。

イマドキ珍しい五人兄妹という中で、唯一私だけが女なので、普段の性格や趣味は男っぽい部分が多いと思います。

今は、いろいろな方々にご迷惑をおかけしているので、少しでも早く、皆さんのお役に立てるように頑張ります。どうぞ宜しくお願ひ致します。



なにしよ さゆり
名越 沙友里

中標津農業高等学校食品ビジネス学科卒業の名越沙友里です。皆さんに一日でも早く顔と名前を

覚えてもらえるよう、准職員として、恥をかかないように一生懸命頑張ります。また、三月に行った実習を四月からも生かせるよう努力していきたいと考えていますが、まだまだわからないことが数多くあり、皆さんに迷惑をかけてしまうかも知れません。重ねてご指導を宜しくお願ひ致します。



しまだ まいこ
島田麻衣子

武蔵女子短期大学教養学科卒業の島田麻衣子です。この春、新卒で共済課の配属になりました。

趣味は読書です。主に恩田陸さんや乙一さんといったミステリー系の小説を読んでいます。

共済事業については、専門業務なので業務になれるまで時間がかかってしまい、何かとご迷惑をお掛けしてしまいかと思います。少しでも早く業務になれるよう一生懸命頑張りますので宜しくお願ひ致します。



ビート育苗ポット
 引き渡し

当農協のビート育苗センターで、三月十八日から2004年度に向けたビート育苗ポットの引き渡し作業が始まり、月末までに全生産者へ引き渡しを行いました。途中、吹雪によって引き渡し作業の中断があったものの、今年は全十六戸の生産者合計約六千七百冊、百三十四ヘクタールの引き渡しを終えました。

一、二月、そして三月、四月二日に降ったドカ雪の影響で、圃場はまだまだ一メートルを越す雪の下ですが、引き渡された育苗ポットのビート種子をビニールハウスで丹念に育て、五月初旬からの圃場への定植に備えるもの。

育苗ポット作りは農協職員、パートナー・アルバイト、てん菜生産者らで行い、生産者相互または、周辺の農家の協力を得て軽トララックで各農家

のビニールハウスまで運ばれました。



育苗センターでのポット製作工程

酪農ヘルパーの
 資質向上目指し

根室地区酪農対策協議会とJA北海道中央会中標津支所は合同で、根釧農業試験場の協力を得て、管内で初めての試みとなる酪農ヘルパー資質向上研修会を開きました。

根室管内では、専任ヘルパー臨時ヘルパーの数は、管内で百四十人規模に上り、酪農家が変わって家畜などの財産を安全に保全しつつ、搾乳などをする技術者として高い倫理観念と責任が要求されています。ファーム・エイの職員と青年ヘルパー員も多数参加しました。

講義では、作業を行っていく上で

の気持ちの持ち方について、二、四人を一つのグループとするワーキング形式の討議時間を設け、対話の中で酪農ヘルパー業務上の考え方について、それぞれのグループが議論した内容を発表しました。



酪農ヘルパーに求められることを討議しました

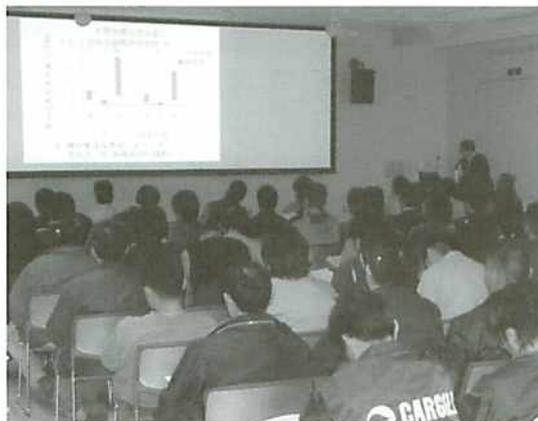
青年ヘルパー員が集まったグループの発表者、長正路健二さん(当幌)は、利用者・作業員双方の立場から、「畜主と話をし、聞かれたことには自信を持って答えてくれるようなヘルパー作業者を望むし、自分もそうなっていきたい」と気持ちの持ち方を語りました。

第二講では、農場間を移動するヘルパー作業者が、農業者以上に気を遣わなくてはならない部分でもある酪農場のバイオセキュリティについて

て、同試験場・仙名和浩専門技術員から説明を受けました。

農試で
 新技術発表会

根釧農業試験場(水島俊一場長)は、三月十一日、2004年度の新技術発表会を開き、ふん尿に関する新技術四つを含む九つの技術研究成果を発表しました。



試験研究発表では、釧根農試の研究職員ら八人がふん尿の利活用に関する新技術などを紹介、道畜試(帯広)からは代謝生理科の研究員一人が第四胃変異についての試験研究を報告しました。

発表報告の内容について興味のある方は、組織広報係にファイルしてありますので一報願います。

退職のお知らせ

三月三十一日付で六人の方が退職されました。
長い間、ご苦勞さまでした。

生活部 生活店舗課 考査役 後藤正之



この度、三月三十一に付けを持ちまして中標津町農業協同組合を定年退職致しました。振り返ってみますと、昭和三十九年、農協電気部、発電所勤務以来四十年、生活店舗を主に数力所の部署への勤務となり、いろいろな経験をさせていただきました。大変永きに渡り組合員の皆様方には公私ともに何かとお世話になり、ご指導ご鞭撻を賜りまして誠にありがとうございました。心より厚くお礼申し上げます。

今後は在職中にいただきましたご教訓と、これまでの貴重な体験を生かして参る所存でありますので、なお一層の御高誼のほど宜しくお願ひ申し上げます。
末筆ではございますが、今後、中標津町農協の益々のご繁栄と組合員

の皆様のご健勝とご多幸を心より御祈念申し上げます。略儀ながら退職にあたってのご挨拶とさせていただきます。

営農部 経営相談課 高橋ゆかり



この度、三月三十一日を持ちまして退職させていただくこととなりました。十五年間を経営相談課で奉職させていただき、上司、同僚はもとより、組合員の皆様には仕事を通じてお世話になることも多く、本当にありがとうございました。

今回、退職を決めてからも、声をかけてくれる方も多く、大変嬉しく、また、有り難く思っています。
今まで大変お世話になり、有り難うございました。この場をお借りし、お礼申し上げます。今後とも皆さんのご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

ます。

管理部 金融課 小田 美佳



平成八年四月に入組し、管理課、畜産販売課、資材課、金融課組助係と組合員の皆様、先輩方のご指導のおかげで、これまでやってこられたたくさんのことを学ばせていただきました。

仕事と家庭の両立には大変なこともありましたが、職場の皆様や家族の協力により今まで頑張ることができました。たくさんの方々に支えられてこれまでやってこられたことを改めて実感しました。皆様への感謝の気持ちを忘れず、これからは私自身が家族の支えとなり、これまで経験させていただいたことを生かして頑張っていきたいと思えます。
長い間お世話になりました。ありがとうございました。

生産部 酪農課 蝦名 菊美



平成九年に金融課の組助窓口として奉職し、翌年には酪農家へ異動となり、組合員、職員の皆様に支えられながら七年間勤めさせて頂くことができました。

農協ならではの多種多様な業務や野球部のマネージャーなど、いろいろな経験をさせていただき、大変お世話になりました。今後とも皆様のご健康とご活躍を祈りつつ、「くれぐれも飲み過ぎにはお気を付けください」。

最後に一句
農協に 勤めて覚えた 酒と乳

営農部 家畜改良課 平尾絵梨香



初勤務日に職員の前で挨拶した時

Congratulations

おめでとうございます



西当幌 安田稔・じゅん子さんご夫妻 長男

安田 正嗣・美季

やすだ まさしさん・みきさん(旧姓:下斗米)

のことを今でも鮮明に覚えています。あの日から、もう四年も経ち、そしてこの度、三月末をもって退職することになりました。

家畜改良課に勤めさせていただいたおかげで、全く未知の世界だった牛のことを知ったり、共進会に参加したりと思い出もたくさんあります。特に酪農実習では学ぶことも数多くありましたが、本当に楽しく、実習できたことにとても感謝しています。

毎日勤めていると、たまにはミスをし、反省に浸る日もありました。最後になりましたが、上司の方々、何もわからなかった私に丁寧に教えて下さり、励まし応援して下さいました改良課の皆さん、そして、組合員の皆様、農協職員の皆様、本当にお世話になりました。

これからも明るく元気に生きていきます。♥

管理部付 審査役 渡部 弘道



3月の組合動静

- 1日 第12回理事会
- 2日 大根施設整備打合せ
- 3日 職員採用筆記試験
- 5日 女性部三役会議・決算監査畜特資金巡回指導
- 8日 地区別懇談会(10日)
- 9日 乳牛改良同志会役員会
- 10日 プロックロー栽培講習会
- 13日 役員報酬審議会
- 15日 青年部新年度予算打合せ
- 16日 女性部役員
- 17日 支部長新旧合同会議
- 18日 生食加工委員会
- 19日 乳牛改良同志会勉強会
- 23日 グリーンユニオン精算会議
- 25日 融資協議
- 26日 女性部第51回通常総会
- 27日 職員採用面接試験
- 29日 当農協協議
- 30日 第7回生産委員会
- 31日 酪農ヘルパー組合役員会
- 農場リース打合せ
- 第9回営農委員会
- 鉦根地区農連執行委員会
- 第4回管理購買委員会
- 第13回理事会
- エゾシカ対策検討会議
- 柵卸監査

この度、故南出廣昭氏のご家族と、故児玉光彦氏のご家族の方々より、お世話になった中標津町農業協同組合へということでご厚志をいただいております。両ご親族からの浄財については、中標津町農協担い手創出支援基金に受入し、後継者の育成に活用させていただきます。この場を借りて御礼申し上げます。

編集雑記

進学による別れ、転勤による別れ、そして新たな出会い。四月は出会いと別れの季節です。三月末を以て退職された方、長い間様々な業務で農協を支えていただきありがとうございます。ありがとうございました。

四月一日付で入組された方々、まだまだこれからのフレッシュユスで、いろいろなことにチャレンジして欲しいものです。

新採用の准職員は、今月の紙面を飾っておりますが、女の子ばかりなので、青年部員の未婚者の方はチャンス到来ですヨ。どんどん農協に顔をだして、出会いのチャンスを手掴んで下さい。▼未婚青年部員に頑張ってもらいたい(ま)

平成16年
4月行事日程表

- 1木 職員歓送迎会 大会議室
- 2金 監事協議会通常総会～根室
- 3土 監事協議会春期研修会
- 4日
- 5月 交通安全協会定期総会
- 6火 棚卸精査
- 7水
- 8木 あるる定休日
- 9金 農業高校入学式
馬铃薯栽培講習会
- 10土 酪農ヘルパー利用組合役員会
- 11土 熟年会春期研修～15日
- 12月 第1回生産委員会
融資協議～15日
農協前SSタンク検査作業休業～17日
- 13火
- 14水
- 15木
- 16金 第1回営農委員会
- 17土 審査講習会
- 18日
- 19月
- 20火 第56回JA中標津青年部総会
- 21水 第1回理事会
酪農技術セミナー
- 22木 決算監査
あるる定休日
春の園芸市～23日
- 23金 決算監査
食品加工交流部会第3回総会
- 24土 第43回中標津B&Wショウ
- 25日
- 26月 決算監査
- 27火 決算監査
- 28水 決算監査
- 29木 みどりの日
- 30金 酪農ヘルパー利用組合総会

5月行事日程表

- 11火 園芸市～12日
- 22土 平成16年度 根室B&Wショウ

もう食べました？

四月一日に中標津町発、全国発売しました雪印乳業のプロセスチーズです。中標津町と標津町の生乳を使って生産された、北海道中標津ゴードチーズを原料に関西で製造されたもの。中標津のイメージと皆様の取り組みによって向上している、乳質という付加価値を商品としたスライスチーズと、とろけるスライスチーズの2種類です。



- 3月号の広報誌アンケート&クイズ抽選結果は、下記の通りです。
- 当選者には薄謝進呈致しますので楽しみにお待ち下さい。

【当選者】

筒井辰也さん (西当幌)

【クイズの答え】

- Q1. この日向ぼっこしているネコの撮影場所は？
A: 瀧ヶ平(たきがひら)さん宅
- Q2. 暖かいにゃー、僕たち何匹いるかニャー？
A: 3匹
- Q3. しれとこヤギミルクと言えばだあれ？
A: 乾洋(いぬいよう)さん

さて、今月のクイズは？

上記なかしべつチーズの『あるる』での販売価格についてです。

4月1日現在、いくらで販売されているでしょうか？

広報誌アンケート&クイズ抽選用紙に回答などを書いて、事務所にある応募箱に投函願います。(応募締切4月30日)